

[実践報告]

## ラムサール条約 CEPA プログラムに基づいた環境教育の実践 CEPA プログラム活動「親子でピクニック」秋編

藪並 郁子・神田 房行  
北海道教育大学釧路校生物学教室

### Activity of CEPA Program: Parent-child Picnic in autumn

Ikuko YABUNAMI and Fusayuki KANDA

Department of Biology, Hokkaido University of Education, Kushiro 085-8580, Japan

#### はじめに

自然保護の概念が広く浸透するには、環境教育、普及啓発が必要で有効な手段の一つですが、乳幼児を育てている母親にとって育児で多忙などの理由から環境について情報を得る機会があまりありません。しかし子育て期間中は子どもの健康面に対する関心が高く、将来的に子どもの健康に影響を及ぼす可能性のある環境問題などにも関心が向きやすい時期でもあります。もともと子供に影響力がある「母親」が日々の生活の中でごく自然に「子供」に環境教育を行うことができるなら、自然保護の概念をしっかりと見つけた子供たちが多数育つことでしょう。そこで、釧路湿原という大自然を体験しながら特に母親たちに自然保護について一緒に考える機会を提供できれば・・・という思いから“親子でピクニック”を開催し

ました。

しかし、乳幼児を連れての外出は荷物が多くなることや子供の世話など母親に負担がかかります。そこで子供たちとの接し方が上手な幼児教育研究の学生の協力を得て、ピクニックに行くことで母親の負担を軽減し自然の中で日常生活の疲れを癒していただければ・・・と考えました。

#### [実践活動記録]

2003年11月8日(土)、秋の親子でピクニックを開催しました。春(6月)、夏(8月)に続き今回で3回目のピクニックということもあり、参加者のうち約4割の方が春、夏もしくは両方に参加されたリピーターの方となりました。



塘路湖  
へ行って  
きます!



ノロッコ号  
ではなかつ  
たけど、カラ  
フルな車体  
でした



30分間乗  
車なのでお  
弁当食べま  
した!

釧路は秋になってから風の強い日が続いていたので天候の事が大変心配でした。週間天気予報でこの日は雨の予報だったのにもかかわらず当日は晴天で、風もなく穏やかな一日となりました。

午前 11 時、JR 釧路駅に小さなお子さんを連れた参加者の皆さんが続々と到着し、駅構内が賑やかになってきました。お母さん、お父さん、子供たちも寒くないようにとしっかりとジャケットを着込み、子供たちは小さな背中に大きなリュックをしょって汽車の到着を待っていました。今回の参加者は父母 17 名、子供 17 名、スタッフ 10 名の総勢 44 名です。(残念ながら風邪のため当日 12 名の親子が欠席されました。)参加者の多くは北海道教育大学釧路校の幼児教育研究室と釧路市で共同開催している『親子遊び教室 (<http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/kenkou/hm/12asohana.htm>)』の同

窓生で、久しぶりの対面でお互いの子供たちの成長振りに驚くなど母親同士の話に花が咲いていました。

釧路駅 11:33 発の塘路駅行きが汽車が到着し、塘路に向けて出発です。

JR 釧路駅から JR 塘路駅までは釧路湿原のすぐ脇を線路が走っていて湿原の様子を間近に見ることが出来ます。10 月下旬頃まではまだ紅葉がきれいだったのですが 11 月にはいるとさすがに葉もほとんど落ちていました。しかし逆に春、夏のピクニックでは木が生い茂っていて湿原の中の方を見渡すことが出来なかったのですが、今回秋のピクニックではかなり遠くまで見渡すことが出来ました。今回は塘路まで足を伸ばしたため 30 分間の乗車時間となったことと、お昼時間だったこともあり車内でお弁当をいただきました。



春、夏におこなった親子 de ピクニックでの下車駅「釧路湿原駅」を越えると蛇行した釧路川がすぐ側に見えてきます。ここ数週間のうちにたくさんの白鳥がシベリアからこの辺りに渡ってきているというお話をしたところ、子供たちは一生懸命窓の外を見て白鳥の姿を探していました。塘路湖の隣のシラルトロ湖まで行けば白鳥を見ることが出来ますが車窓からは無理かしら・・・でも子ども達に白鳥を見てもらいたいな・・・と願っていたところ、後ほど嬉しい出来事が起こりました。

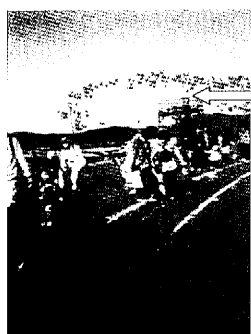
JR 塘路駅に到着し、駅前の広場で準備体操をしました。北海道教育大学釧路校幼児教育研究室の学生5名が準備体操のリードをとってくれました。子ども達にお馴染みの歌遊びを交えながらの準備体操に子供たちも大喜びです。父母の皆さんもこの先エコミュージアムまで少々長い距離を歩くので念入りに体操していました。

そんな合間をぬって、広場の真ん中にある木のやぐらに子供達が登り始めました。結構高さがあるやぐらなのでお母さんもスタッフも心配していると、なんとやぐらの上から湖の白鳥がはっきり見ることができるとはあり

ませんか！汽車の中で白鳥のお話をした後、子供たちは白鳥を探し続けていたようです。子供たちの純真さに感銘を受けた一幕となりました。

塘路駅からエコミュージアムまで信号機のある道路を迂回して向かったため、700～800メートルほどの距離を歩くことになりました。小さな子ども達にとってはちょっと大変かな・・・と思いましたが、子供たちは歩き疲れるとママに抱っこしてもらえるので一番大変だったのはお母さん達だったようです！

ミュージアムに行く途中、植物専門のスタッフ柳本さんより、道端に落ちている落ち葉や木の実、身近な動物などについて解説がありました。子供たちはもちろんお母さんたちも林の中に足を踏み入れ、落ち葉を拾い集めたり、どんぐりの帽子を探したりとちょっとした探検気分を味わっていたようです。今年は冷夏だったためか木の実の出来が悪く、どんぐりの実は落ちていなく帽子だけがいくつか落ちていました。「きっと森の動物がほとんど食べてしまったのでしょう。」との解説に子供たちも納得していたようです。



結構高さのあるやぐらで、ここに登ると白鳥が見えます。



歌遊びを交えた準備体操をした後、塘路湖エコミュージアムに向けて出発しました。道端の草花なども子供たちにとってはオモチャのようです。



子供たちは松の枯葉がお気に入り！  
両手にいっぱい拾っては落とし・・・

周りの景色を見たり、植物に触れたりしながらゆっくり歩いてきたため午後1時、塘路湖エコミュージアム「あるこっと」に到着しました。一息ついてから子供たちは研修室をお借りし落ち葉や松ぼっくり等を使った冠作りの工作を始めました。スタッフが子供たちの工作をお手伝いする間に、父母の皆さんは「あるこっと」指導員の佐藤光則さんよりミュージアム内の展示物などに付いてレクチャーがありました。初めてミュージアムを訪れた方が多かったようで熱心にお話を聞いていたのですが、残念ながら帰りの汽車の時刻が迫ってしまい、一通りお話をお聞きすることはできませんでした。ミュージアム内には素晴らしい展示がたくさんあるので、今回のピクニックをきっかけに個人的に足を運んでくれる人が増えることを願っています。

一休みした後、恒例の集合写真を撮るために「あるこっと」を後にしました。今回は釧路湿原と同様に、ラムサール条約登録湿地となっている塘路湖をバックに撮影しました。

帰り道は横断歩道を渡る近道のルートで塘路駅に向かいました。塘路駅前の広場に到着してから子供たちは疲れも見せず、エゾシカ公園のエゾシカに金網越しではありますが近寄って草をあげたりしました。その後、汽車が到着するまでの間、父母を対象とした環境問題やラムサール条約に関するクイズ大会を行いました。今回は民間企業の(株)釧路丸水さんが親子 de ピクニックに協賛してくださり賞品（鮭フレーク瓶詰め3個人り×3箱）のご提供をいただきました。その他、ラムサールセンターさんより湿地の日のシール、T-シャツ、タオル、KIWCさんより塘路湖・釧路湿原の絵葉書セットなど提供いただきました。

今回は豪華賞品が揃っていたせいか？お昼寝している子供を抱えながらも真剣勝負となりました。大バトルの末優勝者が決定し、鮭フレーク詰め合わせを贈呈いたしました。贈呈の際、皆さんにはこのフレークの原材料である鮭は持続可能な捕獲量に基づき捕獲されていることを説明いたしました。



皆さんとっても素敵な冠が出来ましたね！↑



指導員の佐藤さんに展示物などについてのレクチャーをしていただきました  
ありがとうございました



では問題です！



また遊びにきてね！

優勝おめでとうございます